

まとめの問題

- (1) 太陽は、地球に適当な量の(光)エネルギーをもたらしている。
- (2) 太陽以外の恒星と地球との距離は、太陽と地球との距離に比べて極端に(遠)い。そのためその光は弱く、太陽のように明るい(昼間)をつくり出すことはできない。
- (3) 太陽の直径は地球の約(109)倍、質量は約(33万)倍である。
- (4) 太陽の表面温度は約(6000)℃である。太陽は(水素)や(ヘリウム)などのガスでできた巨大な気体のかたまりで、中心部は約(1600万)℃もの高温である。
- (5) 太陽の表面には、周りより温度の低い(黒点)と呼ばれる部分があり、その温度は約(4000)℃である。
- (6) 太陽の表面には、炎状の(プロミネンス(紅炎))が見られる。また外側には(コロナ)という高温のガスの層がある。
- (7) 太陽の黒点を観察すると、日がたつにつれて少しずつ移動することがわかる。これは太陽が(自転)しているからである。
- (8) 中心部では円形に見えた黒点が太陽の周辺部にいくとだ円形にたがる。これは太陽が(球形)である。